

中国地方国際物流戦略チームの取り組み

平成29年5月25日

中国地方国際物流戦略チーム事務局

設置目的

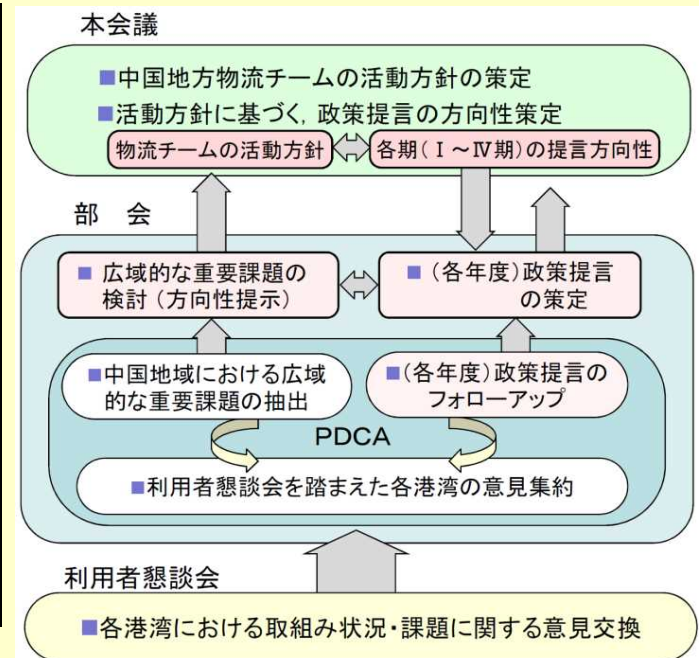
- 中国・ASEAN等が生産拠点・販売拠点として急成長し、国内企業が調達・製造・販売拠点をアジアにシフト
- 我が国の経済活動を支える国際物流と国内の陸・海・空の各輸送モードが有機的に結びついた迅速、低廉でシームレスな物流ネットワークの構築が必要
- 関係機関相互の密接な連携により、地域の実情に応じた国際物流のボトルネックの解消と、効率的な新しい物流システムの構築を目指す **2006年8月設置 10年を超えて活動を重ねている**

組織

中国地方国際物流戦略チーム（本会議）委員名簿

	所 属 及 び 役 職
経済団体等	中国経済連合会 会長（本部長）
	中国地方商工会議所連合会 会頭
有識者	広島大学大学院 社会科学研究科 特任教授（部会長）
	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授
物流関係団体等	中国地方海運組合連合会 会長
	中国地方港運協会 会長
	神戸通関業会 理事長
	門司通関業会 会長
	中国トラック協会 会長
	中国地方倉庫協会連合会 会長
	中国冷蔵倉庫協議会 会長
	広島国際航空貨物運送協会 会長
	日本貨物鉄道株式会社 関西支社 広島支店長
	地方公共団体等
	島根県知事
	岡山県知事
	広島県知事
	山口県知事
	呉市長
	境港管理組合 管理者

	所 属 及 び 役 職
地方支分部局等	総務省 中国総合通信局長
	法務省 広島入国管理局長
	財務省 神戸税関長
	財務省 門司税関長
	厚生労働省 広島検疫所長
	厚生労働省 神戸検疫所長
	厚生労働省 福岡検疫所 門司検疫所支所長
	農林水産省 神戸植物防疫所長
	農林水産省 動物検疫所 神戸支所長
	経済産業省 中国経済産業局長
	国土交通省 中国地方整備局長
	国土交通省 中国地方整備局 副局長
	国土交通省 中国運輸局長
	国土交通省 大阪航空局長
	海上保安庁 第六管区海上保安本部長
	海上保安庁 第七管区海上保安本部長
	海上保安庁 第八管区海上保安本部長
株式会社日本政策投資銀行 中国支店長	



中国地方国際物流戦略チームの活動経緯 (2006年度～2016年度)

中国地方国際物流戦略チーム

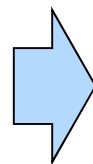
・「中国地方国際物流戦略チーム」では、2006年8月の設置以降、**6回の本会議、16回の部会、33回の各港利用者懇談会**を開催。

・利用者懇談会で頂いた意見・要望をもとに、提言としてとりまとめ、政府や中央省庁へ要望を行っている。

【(2013～2016) 利用者懇談会における意見】

- ・ バルク貨物への支援策の検討
- ・ 港湾施設の新規整備、維持補修
- ・ 道路整備によるボトルネックや渋滞の解消
- ・ 夜間入出港、航行の規制緩和
- ・ 専用岸壁の改良や航路の維持浚渫への補助
- ・ 新規航路の誘致、既存航路の増便・維持支援
- ・ 港湾施設利用料の減免
- ・ 各種行政手続きの簡素化
- ・ 観光と物流の協調
- ・ 港の連携に向けた実務レベルの勉強会実施

等



【政策提言へ反映】

➤ 安全・安心の確保

大規模地震や津波に対する防災・減災対策として、ソフト・ハード両面の取組の推進。港湾施設・海岸保全施設の計画的かつ適切な維持管理の推進。

➤ 産業の国際競争力の強化

中国地方の産業活動を支える国際コンテナ物流の機能強化。わが国の資源・エネルギーの安定的かつ安価な輸入のための国際バルク戦略港湾の機能の充実。

➤ 地方の創生のための産業物流の効率化

地域の基幹産業を支える産業物流の効率化の推進。瀬戸内海側はもとより日本海側の拠点港としての機能強化。



利用者懇談会で現場の声を聞き、港の利便性向上を目指す



中国地方国際物流戦略チーム有志一同による政策提言を活用した政府への要望活動状況 (H28.12.1)

「地域防災力・産業競争力の強化に向けた国際物流に関する政策提言」に掲げられた取り組みのフォローアップを行いつつ、昨今の社会経済情勢を踏まえ、更なる取り組みの深化に向け直近では『第16回部会』、『第6回本会議』を開催し、中国地方の国際物流に携わる産学官の関係者による意見交換を行った。

第16回部会

開催日: 2016年8月25日(木)
開催場所: グランドプリンスホテル広島
出席者: 部会委員38名

主な意見内容

(物流関係団体)

- ・内航フィーダーにより阪神港へ集荷する計画と同時に、地方港に対する取扱い貨物量の底上げが必要。(東南アジアへの外航船誘致についても戦略が必要)
- ・申告官署自由化により、本社で申告する動きが出てきている。
- ・業界全体が疲弊している中、これからはTPPIに対応できる専門家の育成が必要
- ・広島港の大型クルーズ客船寄港時の渋滞は昼間は少し改善、夕方は変わらず。臨港道路の整備をどんどん進めて欲しい。等々

(物流関係企業等)

- ・中国、韓国等の船社の航路撤退は港の発展の大きな阻害要因の一つ(広島港)
- ・国際コンテナ戦略港湾へ近海航路向け貨物が集荷されていることを懸念。
- ・外資系の船社は経営が厳しく、航路、寄港地の絞り込みをしようとしている。国が地方を捨て、中央をとることになれば、地方港への寄港がなくなる。民間だけの問題でない。等々

(有識者)

- ・港湾運営会社制度は主に神戸港を対象に考えられており、そのまま適用するのは難しい。バルク港湾の施策も同じ。運用はできるだけ柔軟に願います。
- ・地元に着している産業を発展させるのが望ましい。物流をないがしろにしない。
- ・境港で実施されたトライアル輸送の把握、課題整理をお願いします。
- ・国際コンテナ戦略港湾は欧米基幹航路を維持充実させるために行われているが、内航フィーダー貨物は東南アジアの貨物が多く、東南アジア航路は地方港とバッティングすることを前提に戦略港湾と地方港の役割分担を明確にして欲しい。
- ・TPPIにより輸出入貨物量が増える反面、国境を越えて制度が調和化される。TPPIによる自由化の課題を明確に整理して欲しい。
- ・農産物の輸出を中国地方の中でどう位置づけるか考えておいて欲しい。等々

第6回本会議

開催日: 2016年2月17日(水)
開催場所: ANAクラウンプラザホテル広島
出席者: 本会議委員32名



主な意見内容

(物流関係団体)

- ・国際コンテナ戦略港湾施策によりフィーダー貨物が神戸に集約され、地方港は疲弊
- ・クルーズ船入港時の道路渋滞による物流への影響の懸念。
- ・我が国経済に必要な不可欠な内航海運の船舶、船員の高齢化が課題。新たな活動により新規船員を輩出。
- ・サッカースタジアムが港へ建設されると広島港が敬遠される。港運業者だけでなく、荷主、船主も懸念。
- ・来年、関税法、通関業法の改正で輸出入貨物の申告官署自由化、通関業の営業区域制度が撤廃される。通関業への影響を懸念。
- ・ETC2.0につき、港湾の末端まで早急に整備して欲しい。海上コンテナの待ち時間縮減に繋がると期待。等々

(地方支分部局)

- ・クルーズ船入港時の渋滞の抜本的解決に向け、港湾計画の中できちんと位置づけ、必要な措置を講じていく。サッカースタジアムの話も同様。物流に障害が起きないように、港湾計画の中で議論する必要がある。
- ・国際バルク戦略港湾を推進するため、企業間連携を促進。等々

(有識者)

- ・戦略チームが約10年続いている。現場の問題点を伺いPDCAができています。現実を直視しながら、産業競争力に加え地域防災力を加えている。
- ・交通計画や土地利用について、点ではなく一体的に検討を行う必要があり、その中でベイエリアの将来像、必要時期について検討すべき。
- ・人、もの、労働者、関連事業者等が減る中、役割分担を明確にし、中国地方の特徴を優先して考えるべき。等々

- 中国地方国際物流戦略チームの取組の一つとして、港湾利用者の方々の物流全般に関するニーズを把握するために、利用者懇談会を開催している。
- 2015年度以降は、6港(広島港、宇野港、境港、浜田港、岩国港、大竹港)で開催を行っており、引き続き管内各港の状況変化を鑑みながらご意見・ご要望をいただき、今後の政策提言に反映する。

①宇野港利用者懇談会

開催概要

- 開催日:2015年10月 1日(木)
- 会場:産業振興ビル
- 参加企業:地元企業等10社

主な意見内容

- ・港湾へのアクセス改善(道路網整備・JR増便)
- ・フェリー航路の維持・支援
- ・施設使用料の削減
- ・田井地区水面整理場の今後の活用方策
- ・施設利用に関する要望(ヤードの舗装、増深等)
- ・上屋の増設及び機能の強化

②境港利用者懇談会

開催概要

- 開催日:2016年 3月 9日(木)
- 会場:境港市民会館
- 参加企業:地元企業等13社

主な意見内容

- ・外港中野地区国際物流ターミナル整備事業の早期供用
- ・クルーズ船入港増加に伴うコンテナ船、チップ船の同時接岸への対応
- ・原木、リサイクル材等ふ頭用地の混雑解消
- ・海外向け貨物の運賃が割高
- ・境港へのアクセス道路の整備
- ・施設整備の要望(放射線ゲート検知器の設置等)
- ・物流と観光の調整(協調)

③浜田港利用者懇談会

開催概要

- 開催日:2015年10月 1日(木)
- 会場:産業振興ビル
- 参加企業:地元企業等10社

主な意見内容

- ・コンテナ航路の利便性向上(増便)
- ・倉庫の新たな需要への対応
(SOLAS区域のセキュリティ向上に伴う保管需要、海上一括大量輸送に向けた大容量保管場所の需要)
- ・山陰道の早期整備への期待
- ・海上コンテナ輸送のアクセス道路の整備
(港内の地区間のアクセス、浜田港から工業団地へのアクセス、交差点改良の促進)

④岩国港・大竹港利用者懇談会

開催概要

- 開催日:2016年12月 7日(木)
- 会場:岩国国際観光ホテル
- 参加企業:地元企業等14社

主な意見内容

【岩国港に関して】

- ・岩国臨港道路の早期完成

【大竹港に関して】

- ・船舶の大型化に対応した岸壁整備
- ・岩国臨港道路の大竹港側への延伸
- ・コンテナ作業スペースが手狭

【共通】

- ・岩国大竹道路の早期完成
- ・幹線道路に接続するアクセス道路の改善
- ・岩国港・大竹港の連携に関する実務レベルの検討

宇部港・小野田港利用者懇談会

- 開催日:2017年 2月 9日(木) ○参加企業:地元企業等13社

主な意見内容

【宇部港に関して】

- ・石炭の需要増と船舶の大型化に対応する新たな大水深岸壁の整備
- ・コンテナ取扱い機能の拡充
(危険物上屋の新設、コンテナヤードの拡大等)
- ・専用施設の維持浚渫への公的支援
- ・トラックドライバー不足を補う
- ・内航船の定期航路の拡充
(関東方面へのRORO船)

【小野田港に関して】

- ・泊地や航路の水深の回復(維持浚渫)
- ・生石灰を扱う野積み場の補修(水はけの改善)



【参考】中国地方国際物流戦略チームの活動経緯

年月		本会議・部会等	利用者懇談会等
【第Ⅰ期】 設立と緊急提言			
2006 (H18)	8月 9月 10月 11月 12月	第1回本会議 第1回部会、第1回勉強会	広島港・大竹港 / 徳山下松港 水島港 / 浜田港 境港
2007 (H19)	1月 1月 2月 3月 3月 5月 6月	第2回部会 第3回部会 第2回本会議 緊急提言発表	鳥取港 呉港 / 福山港・尾道糸崎港 宇部港・小野田港
【第Ⅱ期】 緊急提言を踏まえたアクションプランの作成			
2007 (H19)	7月 9月 9月 12月	第4回部会 第5回部会	中国地方国際物流シンポジウム 国際物流懇談会 in 山口
2008	2月	アクションプラン発表	
【第Ⅲ期】 提言の深化とバルクターミナル構想に係る検討			
2008 (H20)	6月 7月 8月 9月 10月 12月	第3回本会議	呉港 鳥取港 / 境港 大竹港シンポジウム(後援) 浜田港 / 水島港 広島港
2009 (H21)	1月 2月 5月 5月 9月 12月	第6回部会 第7回部会 第4回本会議 第8回部会	徳山下松港・三田尻中関港 / 岩国港・大竹港 宇部港・小野田港
2010 (H22)	1月 2月 3月 6月	第9回部会	中国地方のバルク港湾の今後を考えるフォーラム in 福山 尾道糸崎港利用者懇談会 / バルクフォーラム in 周南 物流セミナー

年月日		本会議・部会等	利用者懇談会等
【第Ⅳ期】 震災を踏まえた地域防災力と産業競争力の強化に向けた検討			
2011 (H23)	3/11 3/22 7/22 8月	【東日本大震災】 第10回部会 第5回本会議 政策提言とりまとめ	
2012 (H24)	3/1 3/14	第11回部会	国際物流フォーラム2012
2013 (H25)	1/18 5/27 6/11 6/28 7/10 10/15 11/19 11/26	第12回部会	境港利用者懇談会 水島港利用者懇談会 広島港利用者懇談会 宇部港・小野田港利用者懇談会 岩国港・大竹港利用者懇談会 福山港・尾道糸崎港利用者懇談会 浜田港利用者懇談会
2014 (H26)	1/15 1/29 3/12 5/22 7/23 10/17	第13回部会 第14回部会	呉港利用者懇談会 鳥取港利用者懇談会 徳山下松港・三田尻中関港利用者懇談会 阪神港利用促進プロジェクト活性化セミナー(後援)
2015 (H27)	6/26 10/1 12/2	第15回部会	広島港利用者懇談会 宇野港利用者懇談会
2016 (H28)	2/17 3/9 6/23 8/25 12/7	第6回本会議 第15回部会	境港利用者懇談会 浜田港利用者懇談会 岩国港・大竹港利用者懇談会
2017	2/9		宇部港・小野田港利用者懇談会
【第Ⅴ期】 産業競争力強化のための物流の連携強化・生産性向上に向けた検討			
2017	5/25	第7回本会議	